

令和3年度赤十字血液シンポジウム(中四国ブロック)のご案内

平素より日本赤十字社の血液事業に対して深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、中四国ブロック血液センターでは令和3年度赤十字血液シンポジウムを下記のとおり開催いたします。

万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただきたくご案内申し上げます(裏面参照)。

記

日時:令和4年1月22日(土) 13:00~16:10

方法:ハイブリッド開催(現地・Web併用)

会場:(メイン)岡山国際交流センター 8Fイベントホール

(サテライト)愛媛県赤十字血液センター・高知県赤十字血液センター

◎参加費は無料です。

◎現地参加・Web参加共に中四国ブロック血液センターホームページもしくはこちら↓から事前登録をお願いいたします。

参加登録期間:令和3年12月13日(月)~12月26日(日)

事前登録はこちら



◎本シンポジウムは以下の制度の単位となります。

- ・日本輸血・細胞治療学会等が指定する認定制度
- ・日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

中四国ブロック血液センター

令和3年度 赤十字血液シンポジウム 【中四国ブロック】

参加登録が必要です。令和3年12月13日(月)～12月26日(日)

テーマ 感染症と血液事業・輸血医療

内容 第1部 座長: 縄田 隆浩(鳥取県赤十字血液センター 所長)

講演1 輸血後細菌感染の現状と今後の安全対策

後藤 直子(日本赤十字社血液事業本部 技術部 安全管理課長)

講演2 我が国における輸血感染症対策の歴史

— 地域病院での輸血による感染症の状況からみた輸血用血液の安全性の向上 —
稲葉 頌一先生(特定医療法人茜会昭和病院 総院長)

第2部 座長: 小林 正夫(日本赤十字社中四国ブロック血液センター 所長)

講演3 造血器腫瘍診療の進歩

福田 哲也先生(鳥取大学医学部附属病院 血液内科 教授)

特別講演 回復者血漿療法 新興感染症に対する治療の選択肢 新型コロナウイルス感染症での研究を踏まえて

忽那 賢志先生(大阪大学大学院 医学系研究科 感染制御学講座 教授)



岡山国際交流センター
岡山市北区奉還町2丁目2番1号
TEL 086-256-2905



愛媛県赤十字血液センター
松山市高岡町80番地1
TEL 089-973-0700



高知県赤十字血液センター
南国市岡豊町小蓮448番地
TEL 088-866-6660

主催：日本赤十字社中四国ブロック血液センター

共催：鳥取県赤十字血液センター 日本輸血・細胞治療学会中国四国支部

後援：日本医師会 日本病院薬剤師会 日本看護協会 日本臨床衛生検査技師会 日本輸血・細胞治療学会



【お問い合わせ先】

日本赤十字社中四国ブロック血液センター 学術情報課 TEL 082-241-1619